

親子で学ぼう!!



14 海の豊かさを  
守ろう



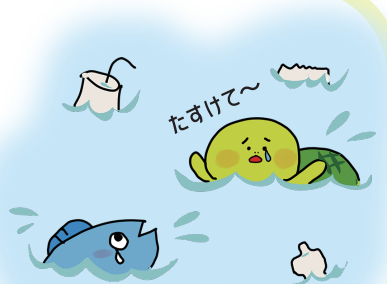
14番目の目標は、海の生き物がこれまで通りに元気に暮らせるようにすることです。海に暮らす生き物の数は1970年と比べて約半分の49%に減っていて、このまま減り続けると絶滅する生き物もいます。私たち人間がむやみに取りすぎているのも原因の一つですが、海が汚されているのも大きな理由の一つです。どうしたらいいのかわいっしょに考えよう!

参考ウェブサイト SDGsジャーナル【SDGs支援機構】(sdgs-support.or.jp)

世界では1年間に約3.8億トンのプラスチックが作られています。そのうちの1100万トンがゴミとして海に流れています。この数は年々増えており、このままだと2050年には海の魚の量よりプラスチックのゴミの方が多くなると予想されています。



海の生き物たちは、プラスチックを間違えて飲み込んでしまい、それが原因で死んでしまうことも多くあります。プラスチックだけでなく海に捨てられた網やロープなどの漁具が海で生きる生き物にからまり傷ついたり、命を奪っています。



考えよう!

- 家の中にプラスチックでできたものはどんなものがあるかな
- 1日に家で捨てたプラスチックをメモしてみよう。ストロー、ペットボトル、おやつのお包み…どのくらいあるかな
- プラスチックのごみを減らすには、何ができるだろう
- プラスチックで問題になっていることを自分でも調べてみよう



1  
2  
3  
4

1  
2  
3  
4

プラスチックは軽くて丈夫なため、ペットボトルやビニール袋など日常のいろいろなところで使われる便利なモノ。しかし、丈夫すぎるので自然の中では分解されずに残ってしまうのが問題です。



分解に400年!!  
ペットボトルは

海に流れついたプラスチックはどんどん小さくなり「マイクロプラスチック」と呼ばれる目に見えないくらいの小さなつぶになります。そしてそのつぶを飲み込んだ魚を私たちは気づかずに食べてしまっているそうです。

